

具体的な施策・重要業績評価
指標（K P I）進捗状況評価票
【令和元年度 3 施策】
（修正確認用）

No.	具体的な施策名
1	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
2	公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
3	百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票
(対象:令和元年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	①	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	観光プロモーション課、広報課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民や市内の事業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。 府中市の魅力を再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。 	

1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 京王線府中駅における1日の乗降人員	人	現状値以上					
		85,279	86,949	88,100	90,224	90,316	88,769
			A	A	A	A	A
② 市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	%	15.0 以下					
		17.7	17.3	17.4	17.0	16.6	16.9
			B	B	B	B	B

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【令和元年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>①ラグビーワールドカップ2019開催に向けた取組として、訪日外国人観光客に本市を訪れていただくため、引き続き、成田国際空港到着ロビーにおける本市の外国人観光客向けPR動画の放映、外国人インフルエンサー等を活用した情報発信、SNS等を活用した多言語での情報発信に加え、新宿アルタビジョン及び渋谷スクランブル交差点街頭ビジョンにおいてもPR動画を放映した。さらに、京王線新宿駅を中心に、大会期間中に実施された市制施行65周年記念市民パレードやFUCHU RUGBY WEEKなどに関する大規模な広告展開を行ったほか、都内のホテル・観光案内所等に本市の多言語ガイドブックを設置、大会会場周辺の高輪駅・調布駅では本市をPRするブースを設置するなど、本市への誘客に努めた。また、府中駅に英語対応もできる観光案内ブースを設置したほか、大会チケットホルダー等に向け実施した市制施行65周年記念乗車券の配布、多言語でのコミュニケーションに対応できる指さし会話帳や飲食店向け指さしシートの市民・事業者への配布など、おもてなしに関する取組を充実した。</p> <p>観光振興の取組として、観光PR用パンフレットの作成や観光振興をテーマとした写真コンクールを実施し、市の魅力をPRした。また、観光客の利便性を図るため、大國魂神社くらやみ祭において、観光客用の仮設トイレ及び誘導看板の設置を行った。そのほか、映像を通して郷土愛の醸成を図るため、ロケ撮影の支援を行うフィルムコミッション事業を実施した。漫画「ちはやふる」等のキャラクターを活用したデザインマンホールを製作・設置した。また、各マンホールの設置場所等を掲載した「ちはやふるデザインマンホールin府中」を作成し、周知を図った。武蔵国 府中大使として、新たに神宮エミ氏、府中アスレティックFCプリメイラ、アスレファンタジスタの1名・2団体の任命を行った。</p>
B	<p>②広報紙を予定どおり発行し、拠点配布として、ファミリーマート（サークルK・サンクス）、セブンイレブン、東京外国語大学、東京農工大学などで配布したほか、ホームページや行政情報アプリ「マチイロ」などに掲載した。また、テレビ広報を予定通り制作・放映したほか、ホームページ・メール配信サービス・ツイッターなどによる情報発信も継続して実施した。</p>

【5年間（平成27年度～令和元年度）の事業の総括】

<p>担当課 評価</p>	<p>①府中市観光振興プランに基づき、観光資源の魅力の発信と、観光客の受入態勢の整備を実施してきた。また、イベント会場への観光PRブースの出店や、フィルムコミッション事業の実施により、本市の魅力を市内外において積極的にPRしてきた。また、府中×漫画で活性化事業では、漫画「ちはやふる」を活用したイベント等を継続的に実施し、誘客・回遊を促進した。広域連携事業では、京王線・南武線沿線自治体との連携に係る費用を平成30年度から予算化し、本格的に事業を進めた。観光パンフレットや案内表示の多言語化に着手し、外国人観光客の受入環境整備を進めてきたほか、平成30年度からは外国人観光客の誘致促進の取組を本格実施した。</p>
<p>B</p>	<p>②平成28年度に新たにセブンイレブンでの広報紙の配布を開始したほか、平成30年度には行政情報アプリ「マチイロ」に広報紙を掲載するなど、手軽な市政情報の入手に資する事業を実施した。一方で、指標が横ばいとなっていることから、マチイロやメール配信サービスなどの情報入手手段について、周知と登録促進を図っていく必要がある。</p>

【令和2年度における取組など】

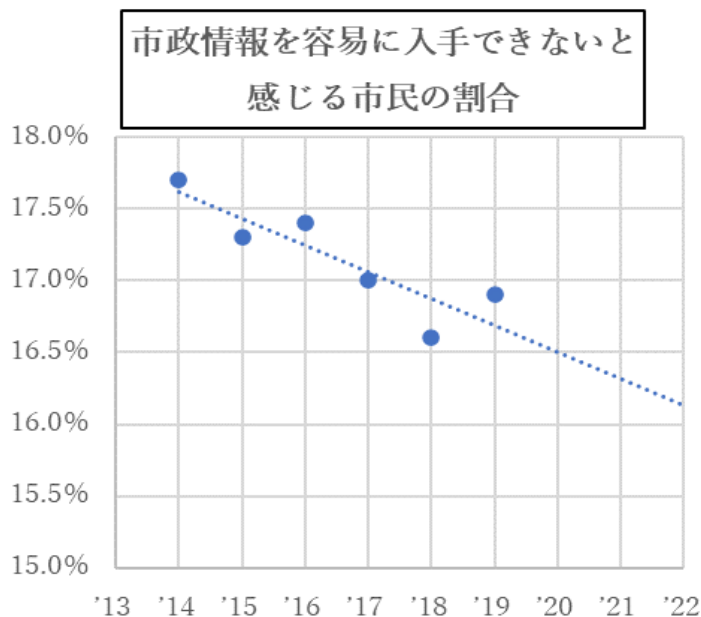
- ①新型コロナウイルスの影響で国内はもとより、海外からの外国人観光客の受け入れ再開時期が未定であり、事業の実施時期等、判断が難しい現状がある一方で、今後、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、外国人観光客に対しての本市の認知度向上や観光客の誘致促進を強化していく必要があるため、引き続きインバウンド関連の多様な事業を展開し、その足がかりとしていく。
- また、観光客を誘致するためには、市外の方へのPRを効果的に実施する必要があり、近隣市町村との広域連携を強化し、面での観光客誘致施策を実施することで、本市の魅力や観光情報に触れる機会を増やし、本市への来訪者の増加を図っていく。
- ②広報紙・テープ広報の年36回発行、テレビ広報の年36本製作・放映、ホームページ・メール配信サービス・ツイッターの適正な管理・運用などを行い、市政情報を発信する。また、市政情報を発信している情報媒体及び入手手段などを広く周知するため、それらの情報を掲載した広報紙の全戸配布を行う。

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>指標①の「京王線府中駅における1日の乗降人員」については、減少傾向がみられるものの京王線全体で減少していることを考慮すると施策に一定の効果があったものと評価できる。（ちなみに調布駅は18年:129,968 →19年:130,065の微増）</p> <p>指標②の「市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合」については、KPI数値の目標値への減少傾向が鈍化しているため、目標達成に向けて改善や工夫が必要と評価する。（下記グラフ参照）</p> <p>市政情報を入手するにはホームページが一つの入口となる。個人的経験からの提案になるが、そのホームページでの検索がなかなかヒットしないので、これを改善することも有効と考える。</p>
B	<p>総合的には目標に向けて概ね進んでおり、協議会としての評価はBでよいと思われる。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。



具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:令和元年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	②	公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
主担当課	建築施設課、道路課、公園緑地課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。 ・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画に基づき、推進します。 	

1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 公共施設の市民1人当たりの延床面積	㎡/人	現状維持					
		2.52	2.49	2.48	2.60	2.53	2.54
		/	A	A	B	B	B
② 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	%	74.0					
		70.3	70.0	70.6	71.1	68.3	66.0
		/	B	B	B	C	C

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【令和元年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>①第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、各施設において、最適化と計画的保全の取組を着実に実施し、順調に進捗している。特に、当該プランで定める、市民保養所「やちほ」と八ヶ岳府中山荘、生涯学習センターの宿泊施設を対象とするモデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」については、有識者や公募市民等で構成する検討協議会から受理した報告書を踏まえ、基本方針の策定に向けて関係課や関係団体等と協議・調整を行った。また、保育所と学童クラブ、子育て支援センター「たちち」を対象とするモデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」については、試行的に実施し、次年度以降に向けて効果の検証を行った。</p> <p>②インフラマネジメント計画（2018年度）の短期計画（平成30年度から令和3年度）の進捗状況は、63件の取組の内、運用している件数が10件増加し46件となり、運用に向け検討を進めている件数は3件増加し、15件となった。このことにより、未着手は、2件となっている。</p> <p>また、具体的な取組は、インフラの老朽化対策として、擁壁などの大型構造物の点検、橋りょうの補修、道路等包括管理事業（北西地区）の中間評価及び次期同事業の運用方針（案）の作成を行った。</p> <p>街路樹や公園樹木については、引続き、安全性の確保、健全な育成、良好な環境と景観形成のため、剪定、間引き、枯損木の伐採など、適切な維持管理に努めた。</p>
B	
【5年間（平成27年度～令和元年度）の事業の総括】	
担当課 評 価	<p>①第1次府中市公共施設マネジメント推進プランにおいて、最適化と計画的保全の取組を進めていく中で、府中グリーンプラザは施設の廃止後、民間活力の導入として、民間事業者による施設の譲渡を行い、新たな活用を図ったほか、府中駅周辺の公共施設の機能を整理し、集約等を行った。また、学校プールの地域開放や、地域プールの廃止の決定も行った。平成29年度末に第1次推進プランの計画期間が満了したことに伴って、第2次推進プランを策定し、継続的に最適化と計画的保全の取組を進めた。第2次推進プランでは、モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」のほか、モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」に取り組み、公共施設における最適化と計画的保全の取組を進めることができた。なお、KPIの実績値については、現状よりも高くなっているが、今後、矢崎幼稚園や市営第二の二本町住宅など、廃止後も現存している施設の解体等を行うことで、数値は下がるものと見込んでいる。</p> <p>②インフラマネジメントシステムの導入による情報基盤の整備、道路等包括管理事業の試行による官民連携の推進、道路法の改正などの社会情勢の変化に対応するためインフラマネジメント白書（2017年度）の作成及びインフラマネジメント計画（2018年度）の策定などを行い、同計画における短期計画の取組63件のうち運用が46件、検討中が15件、未着手が2件となり、目標達成に向け早期に推進できている。また、市内の緑を適切に維持管理するため、街路樹の管理方針の作成及び緑の基本計画の改定を行った。</p> <p>なお、当該施策の重要業績評価指標（KPI）として設定した「公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度」については、市民満足度として高い水準を維持しているものの、目標値との比較においては低い評価となっているが、インフラマネジメント計画は、社会基盤である道路、公園、下水道等を対象とする広範囲の計画であり、施策全体としては計画とおり順調に進捗していると評価する。</p>
A	

【令和2年度における取組など】

- ①引き続き、第2次推進プランに基づく、各施設における最適化と計画的保全の取組の進捗状況を管理していく。モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」では、基本方針の策定に向けて、引き続き、関係課及び関係団体と調整を行う。モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・管理」では、試行期間の中で効果の検証を行うほか、対象範囲や業務範囲等に係る様々な検討を行う。また、令和3年度末に第2次推進プランの計画期間が満了することに伴い、継続的に公共施設マネジメントに取り組むための次期推進プランを作成する必要があるため、その準備として、公共施設の利用状況やコスト状況を集計・分析した公共施設マネジメント白書を作成する。
- ②インフラマネジメント計画（2018年度）の未着手2件の検討を行うほか、令和3年度からの道路等包括管理事業の本運用に向け、市全域を3地区に分割しての受注候補者の選定、業務の効率化及び官民連携の推進を目的としたデジタル技術の活用検討、道路舗装長寿命化修繕計画の策定、歳入の確保、維持管理など公園の在り方の比較検討など、インフラマネジメントの推進を図る。また、街路樹の管理方針及び昨年度に改定した緑の基本計画2020に基づき、引き続き、緑の保全や景観に配慮し、街路樹や公園樹木の適切な維持管理を行う。

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】

協議会 評価	<p>①K P I 公共施設の市民1人当たりの延床面積については、元年度は2.54 m²/人と現状を維持しており順調な推移と評価される。また、第2次府中市公共施設マネジメント推進プランの進行度合いについては、順調な進捗状況である。特に、市内3箇所の宿泊施設を対象としたモデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」については協議会での検討・協議もまとめ、検討協議会から受理した報告書を踏まえた基本方針の策定についての協議・調整も行っており、今後の具体的な事業の検討・立案に向けた活動等が期待される場所である。また、保育所と学童クラブ、子育て支援センター「たち」を対象とするモデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」についても、試行実施および効果検証も行っており、公共施設の最適化と計画的保全についての取組の進捗状況は良好に推移していると評価される。</p>
B	<p>②インフラマネジメント計画については、63件の取組の内、未着手が2件のみとなっていること、インフラ老朽化対策等様々な具体的な取組が実施されていることから、順調な進行度合いと評価される。反面、K P I 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度が66.0と年々低下しており、目標達成は難しい。市民の満足度向上にむけた取組の改善・工夫が必要である。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票
(地方創生関連交付金対象事業)
(対象:令和元年度)

事業名	百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	①	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	観光プロモーション課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外で普及しているかるたコンテンツやかるたを題材とした人気漫画「ちはやふる」を活用し、同作品ゆかりの地である滋賀県大津市、福井県あわら市、東京都府中市の3市と、関連企業、商業施設などが官民で連携することで、かるたコンテンツを発信し国内外からの観光客を誘致します。 	

1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標				
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 京王線府中駅における1日の乗降人員	人	現状値以上				
		85,279	88,100	90,224	90,316	88,769
		※平成26年度の実績	A	A	A	A
② 京王線分倍河原駅における1日の乗降人員	人	現状値以上				
		89,249	92,493	94,116	95,736	95,121
		※平成26年度の実績	A	A	A	A
③ 府中市主要観光施設(観光情報センター・観光物産館・郷土の森博物館・美術館・JRA競馬博物館・サントリー武蔵野ビール工場)観光入込客数	人	1,000,000				
		819,625	956,817	939,931	845,167	933,631
		※平成27年度の実績	A	B	B	B

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【令和元年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	○漫画「ちはやふる」を活用した複製原画展を企画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。また、府中多摩かるた会連盟（府中白妙会）が主催する初心者かるた大会については、昨年度に引き続きその開催に協力し、準備が進められたが、大会は開催直前にコロナ禍のため中止となった。
A	東京都補助金を活用して漫画「ちはやふる」のデザインマンホールを作成し、メディア向け先行展示会を行ったところ、多くのメディアに取り上げられたほか、屋外で3密を避けて市内を回遊できる観光資源としてSNSでも広まったことから、多くの観光客が市内を訪れた。
【5年間（平成27年度～令和元年度）の事業の総括】	
担当課 評価	○令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためイベントを実施することができなかったが、5年間継続してコンテンツを活用して、施設のラッピング、デジタルスタンプラリーやデザインマンホールの製作等の企画を実施し、本市の魅力を高め、知名度を向上させる活動を行い、イベント等を継続的に実施し、誘客・回遊を促進した。
A	
【令和2年度における取組など】	
○令和元年度に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした複製原画展を開催予定である。また、市内の回遊を促す連動企画として、ステッカーラリーを実施する予定である。ラリースポットに複製原画展の会場を加え、相乗効果で集客を図る。なお、イベント実施時には感染防止対策として、検温や消毒、入場制限等を行いながら、安心安全な実施を心がける。	
○また、毎年実施している初心者かるた大会については、引き続き府中多摩かるた会連盟に協力して実施する。	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>かるたコンテンツについては、官民連携事業が継続して実施され、令和元年度においても様々な取組の準備が進められたが、年度末に春休みに合わせて予定されていた事業については、コロナ禍により実施することができなかった。指標数値の推移や5年間の取組からみると、着実に進めることができたといえる。</p> <p>指標①及び②については、利用者数は昨年度と比較した場合、若干減少している状況にあるが、利用者数がキープできているとの判断から評価できる。</p> <p>指標③については、昨年度より観光入込客数は増加しているものの、目標数に届いていない。</p>
A	<p>今後はさらに市内回遊、全国への発信・観光に資する取組が期待される。令和元年度においては企画を年度末にまとめていたことにより、コロナ禍の影響を全面的に受けたことが反省点ではないか。夏の企画、冬の企画等分散して開催する工夫をしていただきたい。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。